



みどりの里

校長通信
第1号
令和4年5月

旧暦の立夏りゅうかの季節を迎えました。立夏とは、しだいに夏めいてくる頃のこととされています。今年5月らしいすがすがしい風が感じられる今日この頃ですね。

さて、本県においても、新型コロナウイルス感染症の広がりにより県内の感染レベルが2に上がり、残念ながら歓迎遠足を中止したり、PTA総会を書面開催としたりすることといたしました。しかしながら、5月に控えた運動会は、保護者の皆様にも予防対策にご協力をお願いした上で、ぜひ開催したいと考えています。雨が降らないこと、感染が急拡大しないことを願いつつ、職員一丸となって実施に向けた準備を進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

ところで、本通信は、令和4年度の学校経営の考え方やそれに基づく学校の取組、その取組の中での私なりの感想を掲載することにより、みどりの里にある川棚特別支援学校の教育やその取組の一端をお伝えすることを目的としています。

そこで、本号では、今年度の学校経営方針（3枚目裏面参照）の中で、重点を置いて推し進めていく取組や特に保護者の皆様にご理解をいただきたい内容に絞って、お知らせをいたします。

令和4年度 経営方針 本年度の努力目標

1-① 児童生徒の命や人権を大切にする指導に努め、いじめや体罰のない学校を目指す。

本校では、児童生徒の命や人権を守り、職員が決して体罰を行わないようにするために、「服務規律の確保」に関する宣誓文を示し、それを年度初めに全職員が共有したり、それを基に毎月初めに、服務宣誓をしたりする取組を進めています。また、服務規律に関する職員研修を計画的に実施しています。

また、児童生徒の命や人権を守り、いじめが起こらないようにするために、『川棚特別支援学校における「学校いじめ防止基本方針」』を定め、児童生徒へのアンケート調査を実施し、教職員が一致団結して日常的に以下のことに留意して、教育活動を進めてまいります。

『川棚特別支援学校における「学校いじめ防止基本方針」』<別表>からの抜粋

- ・各学部、ブロック（小学部の低学年、高学年）での実態に応じた性教育「大切な命」についての指導の実施
- ・人との関わり方を、自立活動や学校生活全般において指導
- ・全ての教育活動を通して道徳教育の実施
- ・児童生徒が心身の苦痛を受けているかどうか、日頃の様子観察や児童生徒の日記、聞き取りなどを通して、常に児童生徒の状況を把握することに努める。
- ・児童生徒からのいじめの相談の受付として「心のポスト」を設置する。

令和4年度 経営方針 「本年度の努力目標」から

3-① 学習指導要領の理念を踏まえ、キャリア教育を中核としたカリキュラム・マネジメントを推進し、教育課程の充実を図る。

この目標に関連して、本校ではキャリア教育に力を入れていきます。

キャリア教育とは

子どもたちが、将来の一人一人に応じた自立につなげるために、社会の中で役割を果たすことを通して、自分らしく生活していけるよう教育すること

大切にすることはこういうことか、なるほど。

そのために、本校では以下のことを大切にしていきます。

- 子どもたちが、自分の役割の意義を知ること
- 子どもたちが、「こうありたい」「こうなりたい」と願いをもつこと
- 子どもたちが、願いや目標を基に自分の言動を振り返ること
- 子どもたちが、自身の良さや課題を考え、次への意欲や目標につなげる
- 子どもたちが、自分で選択したり決定したりする機会を設けること
- 教師が、子どもたちの取組を認めたり褒めたりする機会をもち、子どもたちの挑戦する意欲や達成感を引き出すこと



令和4年度 経営方針 本年度の努力目標から

3-④ 「育てたい力」を身に付けた姿の一覧表を活用して個別の教育支援計画の年間目標を設定する取組を共有し、目標設定の際の留意点を共通理解する。

4-① 面談や様々な通信、個別の教育支援計画、キャリアパスポートなどのツールを活用して本校の保護者に本校教育の理解啓発を図る。

この目標に関連するものとして、以下の2点についてお知らせします。

なるほどそう

なんだ・・・



○キャリアパスポート

キャリア教育を進めていく中で、子どもたちが「こうなりたい」という願いや目標を考えたり、自分の役割を果たしていく過程で自身の言動を振り返ったり、中学部や高等部では、自分の進路を選択したりする学習活動で、このキャリアパスポートを活用します。また、面談の際などにこれを用いて、保護者の皆様とお子様の成長を共有させていただいたりします。

○「育てたい力」を身に付けた姿一覧表

本校では、別紙のとおり子どもたちに卒業までに身に付けてほしい力を明らかにしています。

さらに、「育てたい力」を身に付けた姿を、各部（小学部は低学年と高学年）で検討し一覧表にまとめました。

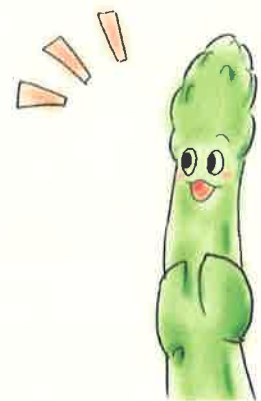
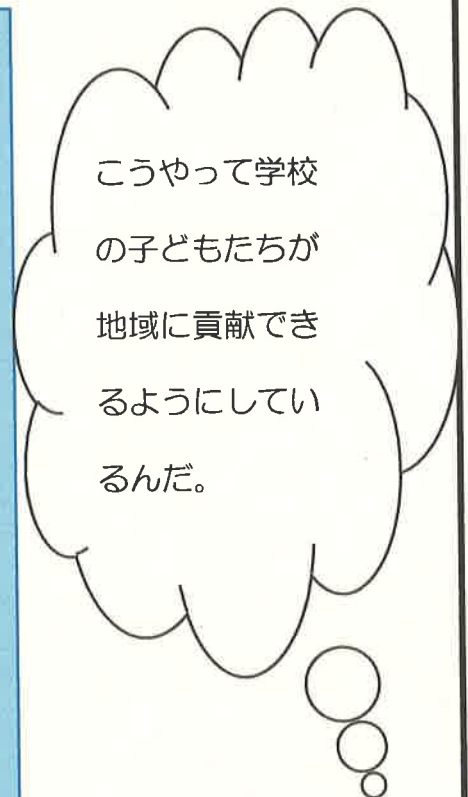
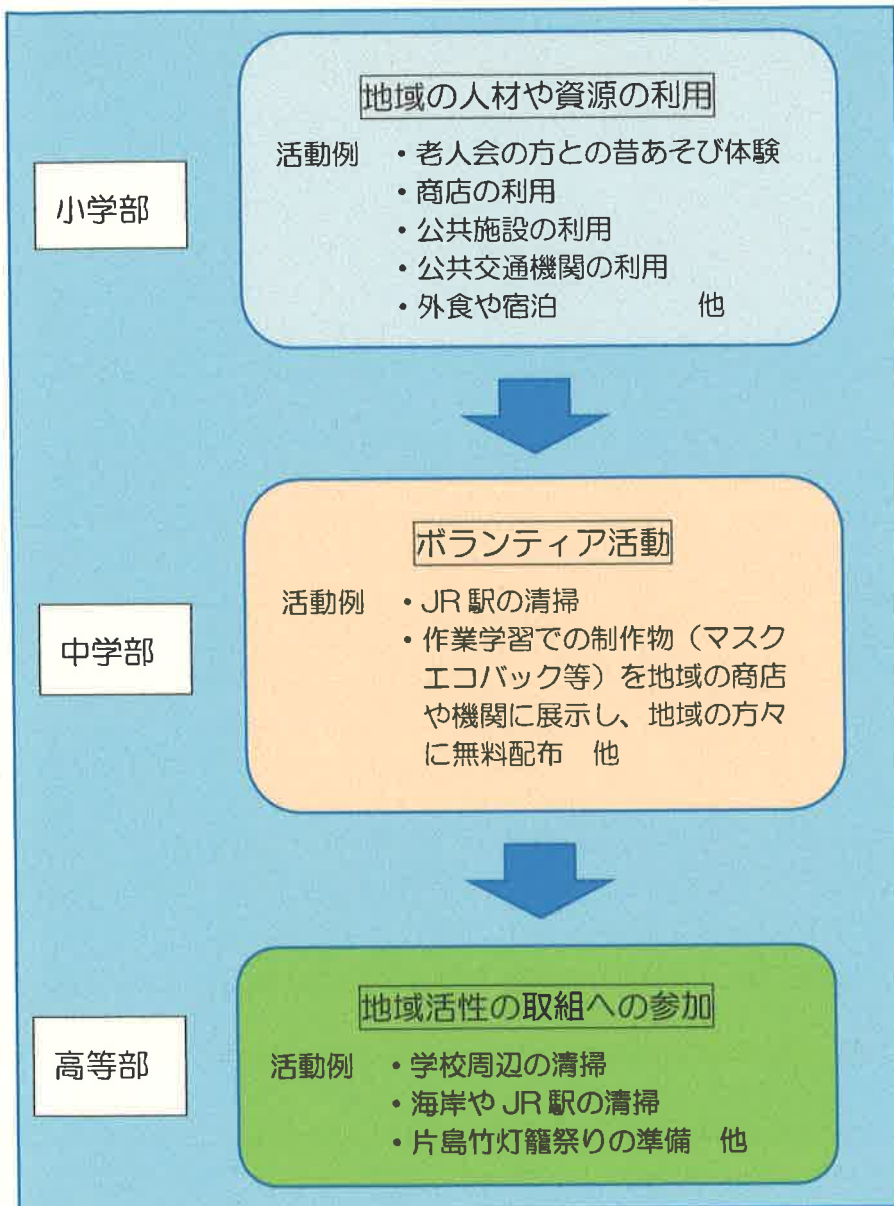
（今回は紙面の都合で掲載していません）

今後は、家庭と学校とが協力してお子様の成長を支えていけるよう、面談等の際にこの一覧表を活用し、保護者の皆様とお子様の指導、支援について共通理解を図っていきたいと考えています。

令和4年度 経営方針 本年度の努力目標から

4-③ 地域の人材や資源を活用した活動やボランティア活動、地域活性の取組に参加する活動などに取り組み、社会に開かれた教育課程の実現を目指すと共に、児童生徒が地域に貢献する取組を推進する。

この目標の達成につなげるために、それぞれの年齢段階に応じた学習内容や児童生徒の力を最大限に引き出すことができる活動などを考慮して、以下のように発展的・系統的に段階を踏んで取組を進めていきます。



『川棚特別支援学校における「学校いじめ防止基本方針」』は、本校のホームページに掲載しています。

ホームページの[学校紹介](#)

▲[その他](#)をクリック



ホームページの[その他](#)

[いじめ防止基本方針](#)をクリック

裏面に、令和4年度の経営方針を載せています。今年度は、斜め文字で下線部の部分を新たに見直しました。

校 訓

明 朗 協 力 自 立

学 校 教 育 目 標

地域の特性を踏まえた創意工夫ある教育活動を通して、児童生徒一人一人の各教科等で育成を目指す資質・能力をバランスよく伸ばすとともに、個々の児童生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって「生きる力」を育む。

めざす児童生徒像

- 心身ともに健康で前向きに明るく楽しむことができる子
- ルールやマナーを守り友達と仲良く助け合う子
- 生活に必要な力を身に付け、いろいろなことに挑戦する子
- 自立に向かって課題を解決しながら主体的に行動する子

めざす学校像

- 児童生徒の人権を尊重し、一人一人を大切にしている学校
- 児童生徒が楽しく生き生きと安全に学ぶ学校
- 教師が切磋琢磨し、互いに協力し高めあう学校
- 地域の特別支援教育に貢献するとともに、保護者・地域から信頼される学校

めざす教職員像

- 一人一人を大切に、児童生徒と共に学ぶ教職員
- 教育の質を向上する意欲と情熱のある教職員
- 自己を磨きお互いの良さを認め合う教職員
- 明朗で健康に留意する教職員
- 児童生徒、保護者、地域から信頼される教職員

重 点 目 標

- 1 児童生徒一人一人を大切に、それぞれの自立や社会参加を促す教育活動を充実、発展させる。
- 2 児童生徒が健康で安全に安心して生き生きと学ぶことができる教育活動や教育環境の整備を推進する。
- 3 教育課程の充実、改善を中核とし教育の質を向上させる、カリキュラム・マネジメントを推進する。
- 4 本校教育の理解啓発や地域貢献活動に取り組み、保護者や地域に信頼される学校づくりを推進する。

本年度の努力目標（重点目標を達成するための取組）

- 1-① 児童生徒の命や人権を大切にしている指導に努め、いじめや体罰のない学校を目指す。
- ② 児童生徒一人一人の障害特性や発達段階、生活年齢に応じた指導及び支援の充実を図る。
- ③ 卒業後の進路を見据え、卒業後に進路実現ができるよう、本校が育成を目指す資質・能力（「育てたい力」）を育む取組を推進する。
- ④ 卒業後の余暇活動につながるよう児童生徒の好きな活動及びスポーツ活動や文化・芸術活動、部活動を充実させ、生涯にわたり児童生徒の生活の質の向上につながる取組を支援する。
- 2-① 健康・安全・食・生活習慣に関する指導を通して、児童生徒の心身の健康を維持、増進する。
- ② 支持的風土を醸成し、また、児童生徒が認められ称賛される機会を設けることに留意し、児童生徒の自尊感情や自己有能感を育む。
- ③ 危機管理意識を高くもって緊急時対応の体制整備に努めたり、ヒヤリハット事業の改善策を共有して事故防止に努めたりする。
- ④ 保護者の信頼にこたえる学校事務運営や学校施設整備計画の策定及び安全に留意した教育環境の整備に努める。
- 3-① 学習指導要領の理念を踏まえ、キャリア教育を中核としたカリキュラム・マネジメントを推進し、教育課程の充実を図る。
- ② 学習指導要領に示された各教科の目標や内容に基づいて各教科の個別の指導計画を作成し、各自がテーマをもって授業の充実を図る。
- ③ 児童生徒が学習や生活の課題改善につなげられるよう、自立活動の「力量形成シート」を活用して課題を抽出し、必要な研修等を組織として実施することを通して授業の充実を図る。
- ④ 「育てたい力」を身に付けた姿の一覧表を活用して個別の教育支援計画の年間目標を設定する取組を共有し、目標設定の際の留意点を共通理解する。
- 4-① 面談や様々な通信、個別の教育支援計画、キャリアパスポートなどのツールの活用を通して、本校の保護者に本校教育の理解啓発を図る。
- ② 本校の教育活動をホームページで公開したり、地域の小中学校の保護者に説明する機会をつくりたりすることを通して、地域の人々に本校教育の理解啓発を図る。
- ③ 地域の人材や資源を活用した活動やボランティア活動、地域活性の取組に参加する活動などに取り組み、社会に開かれた教育課程の実現を目指すと共に、児童生徒が地域に貢献する取組を推進する。
- ④ 地域の関係機関や特別支援教育連絡協議会などと連携を図り、地域に根差した支援に努め、地域の特別支援教育の充実に貢献する。